



The Future is Fair

フェアな未来へ
年次レポート 2020-2021年

目次

はじめに	2
2020年における主要な数値の概要	3
フェアトレードコミュニティのCOVID-19への対応	4
私たちの戦略：2021年以降	6
2020年における前進：挑戦と希望の年	7
農家と労働者へのパワーバランスの移行	7
生活所得	9
生活賃金と労働者の権利	11
女性と若者の機会	13
気候変動レジリエンス	15
成長と革新	17
生産者の売上と市場の実態	17
高まる需要	19
カスタムメイドのソリューション	20
人権・環境デューデリジェンス	21
アドボカシーおよび市民エンゲージメント	22
よりフェアなサプライチェーンに 向けたデジタル化	24
未来への足掛かり	25
フェアトレード・インターナショナルの財務と理事会	26

表紙写真：フェアトレードドキュメンタリーシリーズ
「世界的危機と戦う農家」に取り上げられたケニアの
コーヒー農家Caroline Jepkogei Rono氏（5ページ参照）

はじめに

30年以上にわたり、フェアトレードはすべての生産者が安全かつ持続可能な暮らしを享受し、潜在能力を活用して将来を決定できる世界の共有ビジョンを推進し、農家と労働者を支持してきました。

昨年においては、**グローバルコミュニティとしてCOVID-19パンデミックの対応において協力しました**。私たちの「フェアトレードCOVID-19救援・復興基金」は当面のニーズを満たし、ビジネスの生産性と回復力を高め、新たな方法で顧客を拡大できるインフラおよび技術に投資することによって、約60ヶ国500,000以上の農家と労働者を支援しました。

私たちは、相互のつながりと公平さへの願望を強調したブランドの刷新を発表しました。組織として、私たちはフェアトレード・インターナショナル前グローバルCEOであるDario Soto Abril氏と別れを告げることになり、数名の**新たなるリーダーシップを迎える**、新しい組織体制で臨みました。この度、私たちのグローバル戦略とコミットメントの実行にあたり、フェアトレードシステムにおける30の組織を率いるグローバルCEOを選出しました。さらにドイツ・ボンにおいて業務を管理する新事務局長も誕生しました。この2名はいずれもフェアトレード・インターナショナル理事会の直属です。

また私たちは**社会正義の組織であることに改めてコミットし**、公平で持続可能なビジネスを規範とするための私たちの業務の指針となる野心的なグローバル戦略を立ち上げました。私たちは、生産者、トレーダー、ブランド、NGO、政府やその他多数を含む数百のステークホルダーと協議をし、現状を総合的に判断して農家と労働者に最大限の価値をもたらすために私たちがすべきことの一環として、650以上のデータポイントを慎重に探りました。本レポートには、私たちが共有する人間性や信念を反映した戦略の3つの重要な信条が反映されています。

安定した暮らしは人権です。働きの対価として生活所得を稼ぐことは特別ではなく、権利なのです。これがサステナビリティの基本です。

社会正義がサステナビリティを推進します。農家と労働者が自分たちの未来を決める機会と手段を手にしなければなりません。

急進的な協働が大きな影響を生み出します。誰もが自分だけでは前進することはできません。私たちは皆つながっており責任を負っています。

世界中のフェアトレード農家と労働者と共に、現在私たちは前を向いて行動しています。より良いビジネスの方法のために。人権を尊重し、気候変動レジリエンスを確保するグローバルな貿易のために。すべての人の生活の質がより良くなるために。

よりフェアな未来はここにあります。あなたも参加しませんか？



Nyagoy Nyong'o
フェアトレードグローバルCEO



Melissa Duncan
フェアトレード・インターナショナル事務局長

2020年における主要な数値の概要

71ヶ国・1,880のフェアトレード認証生産者組織には1,900万の農家と労働者が参加



78%のコーヒー生産者組合が総生産の半分以上をフェアトレード条件で販売



2020年に上位7產品でフェアトレード農家と労働者が獲得したフェアトレードプレミアム
1億7940万ユーロ



フェアトレード農家メンバーの17%が女性で、その割合はフェアトレード労働者の41%



2,552社のライセンス取得企業が37,000以上の認証製品を販売
(2020年)



フェアトレード認証製品が販売された国
131ヶ国
(2020年)



2020年に獲得したCOVID救援基金は
1,510万ユーロ



フェアトレードは最も信頼されるエシカルラベルです

67%の買い物客が国際フェアトレード認証ラベルを認識し、87%が信頼



およそ10人中7人がフェアトレード製品を購入する際に、公平さと正義のために立ち上がるコミュニティの一部であると感じている



フェアトレード生産者と農場の特徴の詳細については、私たちのウェブサイトにアクセスしてください。www.fairtrade.net/impact

フェアトレード コミュニティの COVID-19への対応

農業協同組合および生産者組織は、しばしば農村コミュニティの中心にもなっています。フェアトレード生産者は、世界的なコロナウィルスパンデミックのなか、近隣住民を支援するためにフェアトレードプレミアム資金を含む自分たちのリソースを利用しました。例として、インドで茶を生産するChamong Tee Exports Pvt. Ltd.は、4つの茶農園すべての労働者とその家族が利用できるワクチンキャンペーンを展開しました。また、ドイツの取引先企業1社と提携して一部の診療所にCOVID-19の隔離病棟を増設しました。

緊急救援の支援にフェアトレードシステムとパートナーを動員

さらに約60ヶ国500,000以上の農家と農業労働者が、COVID-19パンデミックで大きな打撃を受けた小規模生産者に資金援助を直接提供することを目的としてフェアトレード・インターナショナルがメンバー機関、政府および商業パートナーと共に展開した、[フェアトレードによる1500万ユーロのCOVID救援・復興基金](#)の恩恵を受けています。

当該基金は、ロックダウン中の職場の衛生と安全、食料供給や保管・輸送コストの補填等の様々な緊急救援策に使用されました。加えて、パンデミックの長期的な影響を見据えて、生産者は、生産の多様化、新たな農法の採用や電子商取引を通じて新たな市場へのアクセスにも資金を使用しています。

[▶ 生産者の声をお聴きください](#)



フェアトレードプレミアム資金と地元保健省の援助で
COVID-19ワクチンを受けるChamong茶農園の
労働者とその家族

“緊急ニーズと今後のニーズを満たす資金が、困難な状況にある生産者の支援に役立ちました。生産能力の向上、種やその他の植栽材料の購入、地域食糧安全保障イニシアチブの設立、菜園、農機具その他にも分配されました。”

Sanjeet Khurana氏

フェアトレード生産者ネットワークNAPP
(アジア太平洋地域) Chief Operating Officer

“飢餓、貧困、失業が顕著に増加しています。私たちは小規模農家や協同組合が現在の困難な時期においても数十万人分の食料を貯うことができる農業を続けるための支援として、800万ユーロの資金を提供しています。”

Gerd Müller博士

ドイツ連邦経済協力開発省(BMZ)



ドキュメンタリーに取り上げられたケニアのコーヒー農家のCaroline氏は、夫のNahashon氏と共に西ケニアのフェアトレード認証Kapkiyai協同組合のメンバーです。

フェアトレードドキュメンタリー： 農家のストーリーの共有

2021年に開始したフェアトレードドキュメンタリーシリーズは、世界的なパンデミックにおける3つの農家の経験を詳細にお届けしています。ペルー、インドネシア、ケニアで6か月にわたり撮影されたドキュメンタリー「世界的危機と戦う農家」は、フェアトレード農家のRoberto氏、Ponishih氏、Caroline氏の希望と不安、願望を明らかにしています。社会運動とつながりのある地元の映画製作者チームが、パンデミックの影響だけでなく、気候変動や生活賃金、次世代の農業等その他の挑戦についても感動的な本物の描写を展開・制作しています。

▶ [シリーズはここでご覧ください](#)



「私が子どもの頃から、うちの家族の生計はココナツの木が頼りでした。ココナツの木は置き去りにできない私のツールなのです。」インドネシア最初のフェアトレード認証ココナツシュガー協同組合メンバー農家Ponishih氏

私たちの戦略： 2021年以降



Carmen Boniella氏はペルーのフェアトレード認証
ACOPAGROカカオ協同組合の養苗場マネージャーです。

私たちには基本原則に基づく新たなグローバル戦略があります。生産者、そして私たちの地球にとって最も切迫している分野において共に革新しながら、農家と労働者がフェアトレード内部のガバナンスと意思決定の中心であり続けます。

私たちの戦略における柱は以下の通りです。

1. 農家と労働者のエンパワーメント
2. 成長と革新
3. アドボカシーおよび市民エンゲージメント
4. よりフェアなサプライチェーンに向けたデジタル化
5. 未来への足掛かり

フェアトレードはどのような変化をもたらすのですか？

私たちは、影響を及ぼすことを目指しているグローバルな貿易、サステナビリティおよび農家と労働者の暮らしへのフェアトレードの影響の綿密な分析を実施しました。評価には透明性を確保した上で、生産者に最大の利益をもたらすのは何かに焦点をあてた私たちの変化の理論(Theory of Change)を更新しました。

過去5年における150以上の研究のレビューが示すフェアトレードが与える明確な影響は以下の通りです。

- ・農家と労働者の世帯における収入、幸福感およびレジリエンスの増加
- ・より強力で、よく管理された民主的小規模生産者組織の構築
- ・労働条件や結社の自由を含む労働者にとって働きがいのある人間らしい仕事
- ・環境サステナビリティと気候変動へのレジリエンスへのさらなる貢献

グローバル戦略はこれまでの学びをどう反映していますか？

農家と労働者の「エンパワーメント」はこれまでになく明確になっており、自分たちの未来について意思決定できることは、サステナビリティのすべての側面と密接に結びついています。それは、人間らしい暮らしができる稼ぎや気候変動へのレジリエンス、女性に対する平等や若者への機会、人権保護まで及びます。

私たちは、農家と労働者に機会を創出する既存の市場拡大と新規市場への進出への新たなビジネスアプローチを開拓しています。私たちのトレーサビリティと透明性への投資は、より公平な市場に貢献しています。私たちは、農家と労働者にとって、より公平な貿易条件につながるよう政策の変更を提言しています。

[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

2020年における前進： 挑戦と希望の年

COVID-19や気候非常事態による困難や悲劇、世界規模での急激な変化にもかかわらず、私たちはレジリエンスの実話や、より良いビジネスのあり方は単なる理想ではなく、必要不可欠であるという認識の深まりも目にしています。

本レポートでは、過去1年間に私たちが注力してきた前進と、これから の目標について説明しています。

1. 農家と労働者へのパワーバランスの移行

フェアトレードの社会、経済および環境要件は、家族農家と労働者のためのより公正でより持続可能な貿易条件の確固たる基準を規定しています。これには、フェアトレード最低価格とプレミアム、優れたガバナンスにおける要求事項、生物多様性、ジェンダー間の平等、衛生安全、その他多数が含まれています。私たちは、フェアトレードの原則がサプライチェーン全体で遵守されるべくトレーダーの認証も行っています。

生産者組織とそのサプライチェーンパートナーにも独自のサステナビリティの目標があります。3つの地域フェアトレード生産者ネットワークが、強固で良く統制された生産者組織、より良い暮らし、農家と労働者の権利と機会の拡大を支援する訓練やプログラムを実施しています。

サステナビリティの中心となる強固な生産者組織

フェアトレード認証生産者は、戦略的事業強化、市場拡大、メンバーと取引パートナーへのサービス向上を目指しています。調査によると、管理が行き届き、民主的に統治された生産者組織は、メンバーの利益になるより良い決定を下しています。例えば

- ・コーヒー焙煎やブランド完成品開発に向けた貸付資金等、付加価値付け活動へのフェアトレードプレミアムの戦略的投資

- ・組織として困難な経済時期を切り抜けることができる優れた財務管理と戦略的見通し
- ・気候変動対応型農業についての訓練や耐乾性作物への投資等のレジリエンスを強化するメンバー向けのサービス

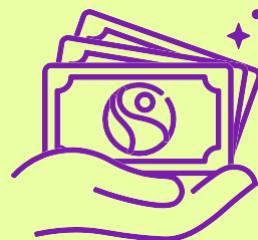
Fairtrade West Africa Cocoa Programmeは、フェアトレードカカオの80%以上、かつ世界中の全てのカカオ供給の2/3以上が生産される、ガーナとコートジボワールのおよそ180のカカオ協同組合を支援しています。2016年に開始したこのプログラムの中で、集中的なトレーニングとサポートにおよそ90の協同組合が参加しています。このトレーニングやサポートには、財務管理や児童労働のモニタリングと救済システム、収入の多様化も含まれます。



Deborah Osei-Mensah氏はカカオ農家でガーナAsunafo North農家組合の生計向上オフィサーです。Asunafo内のフェアトレード担当者として「Dignity for All（すべての人々の尊厳）」プロジェクトを通じて児童労働等の課題について仲間の農家の研修にあたっています。またフェアトレードユースアンバサダーとして気候変動アクションを推進しています。[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

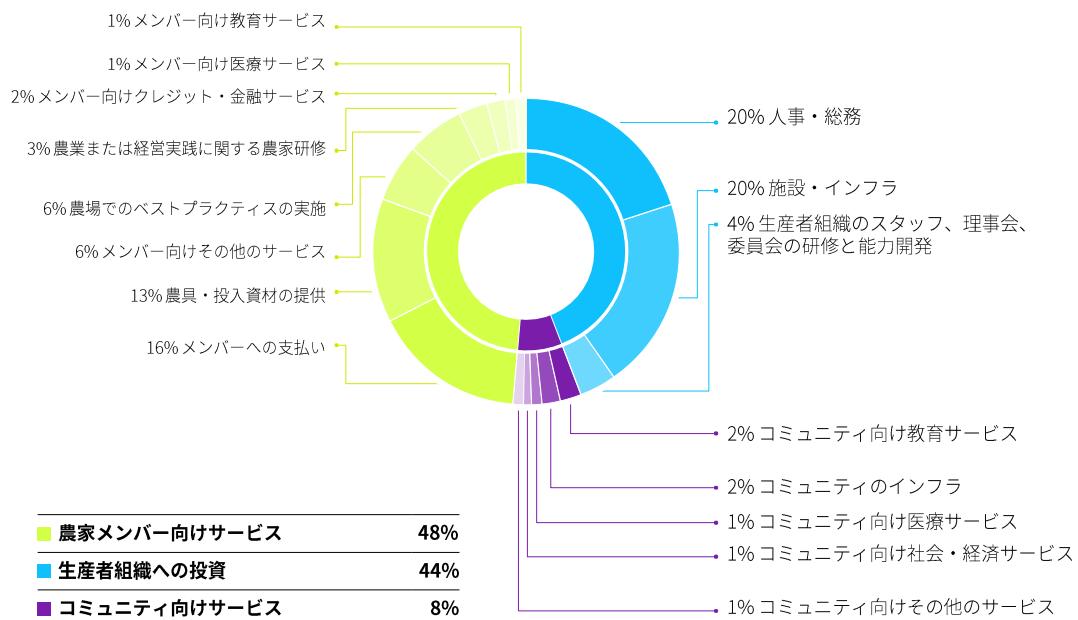
フェアトレードプレミアム： 農家と労働者向けサービスへの大幅な投資

フェアトレードプレミアムは、フェアトレードの一員であることの重要な利点です。生産者は、フェアトレードの取引ごとに販売価格に上乗せされたフェアトレードプレミアムという固定額を受け取ることができます。農家と労働者は、自分たちでプレミアムをどのように投資するのかを決定します。

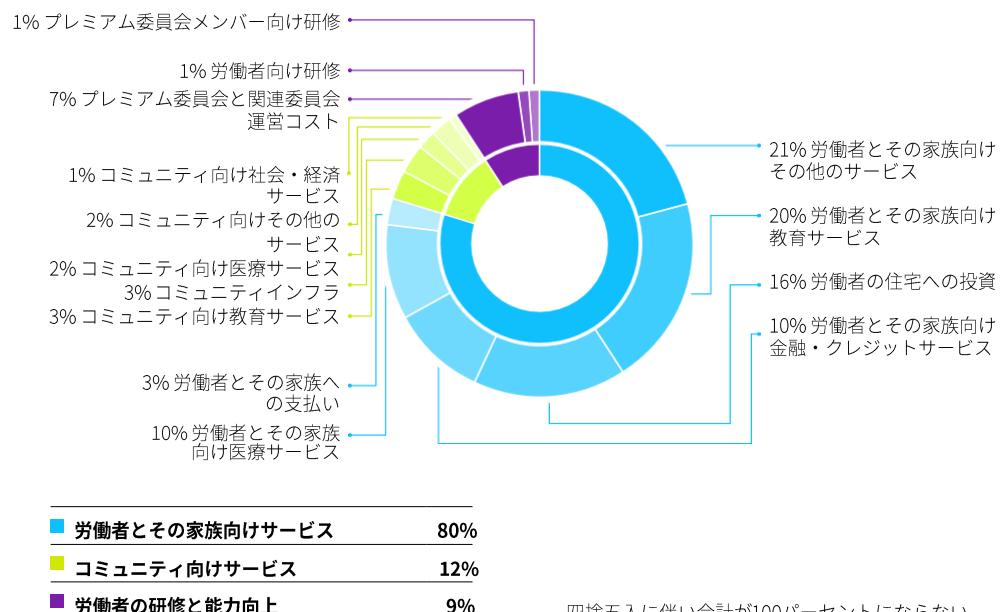


「私たちの夢はコーヒーの保管場所を持つことでした。なんとか自分たちの倉庫を建てることができたのは、非常に重要なフェアトレードの存在があったからです。」
ブラジルCOOCAMINASコーヒー協同組合プレジデント Juares Carlos Pereira氏

2020年 小規模生産者組織 フェアトレードプレミアム使途



2020年 雇用労働者生産者組織 フェアトレードプレミアム使途



四捨五入に伴い合計が100パーセントにならない場合があります。



Oxfamは、フェアトレード生活所得参考価格を支払っている8社のうちの1つで、彼らのBite to Fightチョコレート用カカオを生産するコートジボワールのCANAAN協同組合を対象に支払っています。

生活所得

農家が適正な住宅、食料、衣料、教育、医療およびその他の必要不可欠な家計費を賄うことができれば、生活所得を得ていることになります。農家は通常、農業活動に加えて農業以外からの収入がありますが、農業にかかる費用を差し引いて残る収入が、最低でも適正な生活コストと同額になるべきです。

私たちの生活所得モデルの全体像には、持続可能な農作物の収穫量、実現可能な農場規模、雇用労働者への生活賃金の支払い等の持続可能な生産に必要な費用といった複数の要素が組み合わされています。

農家の収入の現状を理解すべく、私たちは、コーヒーとカカオ農家において識字率が低い環境に適したツールを利用して、各農家が記録をつけることができるシステムを導入しました。2020年には、3大陸7ヶ国の2,000以上のコーヒー農家で農家記録簿が展開されました。この活動は今年も継続しており、特にホンジュラス、ペルー、エチオピアで、コーヒーの基準値を設定し、生活所得基準価格を定義するのに役立ちます。

1年間記録を続けた結果、農家は自分たちの実際の収入と支出をよりよく理解できるようになりました。

GIZからの資金提供のおかげで、私たちは、データの記録と分析がさらに容易になるスマートフォンアプリも開発しています。一部の生産者組織は既に、他のバイヤーとの共有が可能になった情報に基づいて、契約においてより高額で交渉できるようになったことを報告しています。私たちは集計されたデータから所得格差を分析し、農家の所得が時間の経過とともにどのように向上するかを判断していきます。

[動画はここでご覧ください。](#)

農家のデータに基づき、以下3つの產品のフェアトレード生活所得参考価格が設定されました。2018年以降のコートジボワールとガーナのカカオ、2019年以降のマダガスカルとウガンダのバニラ、そして今年の初旬からのコロンビアのコーヒーです。これらは企業がサプライチェーンにおける生活所得を可能にするために、調達先のフェアトレード協同組合に支払うことができる自主価格です。ウガンダ、インドネシア、ホンジュラス、ペルーおよびエチオピアのコーヒー生活所得参考価格についても策定中です。現在8社がコートジボワールとガーナの11の協同組合にカカオ生活所得参考価格を支払っています。

価格コミットメントに加えて、企業は生産者の生産性、効率性、品質、収入の多様性やその他の生活所得の達成に必要な要素の向上に向けた努力を支援することができます。このようなプロジェクトはサプライチェーンパートナーとフェアトレードとの密接な協働を通じて展開されています。

商業パートナー
8社との
プロジェクトを
通じて

フェアトレード
生活所得参考価格
を得ているカカオ
協同組合は
11

“コーヒー生産者に最も不足しているのは、扱っているコーヒーのタイプについての知識です。自分のコーヒーのことやその価値を知らなければ、提示された価格をそのまま受け入れることになります。しかし自分の产品的品質と生産コストを知れば、もっと高い価格を要求して収入にすることができるのです。”

コロンビアのトリマ県の農家でコーヒー生産者組合ASOPEPのコマーシャルマネージャーCamilo Enciso氏



コーヒー農家でコロンビアのCOOAGRONEVADA協同組合メンバーのLuis Adan Reigosa氏は、経費や収入の把握がしやすくなるフェアトレード農家記録簿を使い始めました。



10 フェアトレード・インターナショナル

4月にカカオの収穫に対するフェアトレード生活所得参考価格の支払いを受け取るFanteakwaメンバーのMina Antwiwaa氏

ガーナにおけるカカオ協同組合の生活所得に向けた前進



ガーナのFanteakwa協同組合は、ドイツの小売REWEグループのVery Fairチョコレート用にフェアトレードカカオを供給しています。REWEはこれらの農家にフェアトレード生活所得参考価格を支払っています。

さらにFanteakwa農家メンバーは、持続可能な栽培方法と管理方法、例えば支出や収入をよりよく把握するための農場記録管理などの研修も受けています。

フェアトレード・ドイツは、Fanteakwa農家メンバーとともに彼ら自身のストーリーを記録しています。

▶ [農家メンバーのショートフィルム「impact diary」のひとコマをご覧ください。](#)

“フェアトレードは持続可能なカカオ生産と経営管理の技術的な専門知識を提供してくれただけでなく、去年経験した困難な時期に市場を確保するために必要なすべての支援も私たちの組合に提供してくれました。今では私たちがカカオ豆を売ることで、農家が適正な収入を得ることができるようになって嬉しいです。”

4月に行われた農家への生活所得支払いの式典で、自身もカカオ農家でありFanteakwaユニオン協同組合プレジデントのKwasi Kublenu氏による言葉。

コートジボワールのカカオ農家の家計所得が4年間で85%増加



Impact Instituteはコートジボワールのカカオ農家の家計所得を4年前のデータと比較することで評価をしました。この調査結果は、2017年以降の成果を示すものであり、重要な学びを与えてくれるものです。

- ・ 年間平均家計所得は2,670米ドルから4,937米ドルまで85パーセント増加
- ・ この増加は主に前年度の調査と比較して43パーセント上昇した収穫量の増加と収入の多様化に起因し、いずれの要因についてもフェアトレード・アフリカが西アフリカカカオプログラムを通じて支援
- ・ 15パーセントの世帯が生活所得を得ており、前年度の調査よりも7パーセント上昇
- ・ すべての農家が目標収穫量を達成してフェアトレード生活所得参考価格を受領すれば、90パーセント以上が極度の貧困から抜け出し、3分の1が最低でも生活所得を得るようになることが調査から判明

より高い価格での取引が農家の貧困に役立ち、カカオ農家はフェアトレードを通じた具体的な改善を感じています。しかし収入増加の拡大には、フェアトレード条件での売上の拡大やフェアトレード生活所得参考価格の支払プロジェクトに参加するパートナーを増やしていくことが必要です。

[詳細はここをお読みください。](#)

“私たちにとってこの基本賃金が意味するのは、医療、教育へのさらなるアクセス、自己改革、幸せ、そして働き続ける意欲です。忍耐、勤勉さと生活賃金があれば、どんなことでも達成できるのです。”

バナナ農園労働者でドミニカ共和国におけるフェアトレード労働者ネットワーククリーダーのMaría Jorge氏

生活賃金と労働者の権利

1年間の作業と公開協議の後、私たちは、フェアトレード認証バナナプランテーションの基本賃金を2021年初旬に導入しました。フェアトレード基本賃金は、生活賃金に必要な手取り額の70パーセント以上になるよう設定しています。生活賃金の定義は、30以上の国と地域の基準設定主体であるグローバル生活賃金連合が制定したものを採用しています。

フェアトレードは、生鮮果物に基本賃金を設定した初めての基準設定主体であり（花卉栽培ではすでに設定済み）、バナナ農園労働者の生活賃金達成に向けた具体的な対策を講じています。この変化により、西アフリカやメキシコなど、現在フェアトレード基本賃金を下回っている地域の数千人の**労働者の賃金が最高15パーセント上昇することになります。**

雇用労働者生産者組織向けフェアトレード生鮮果物基準は現在バナナプランテーションに賃金データの共有を求めています。これは**実質賃金と生活賃金との差異を明らかにし**、さらにジエンダーによる内訳を追跡することができるこを意味します。

加えて私たちは、**生活賃金満額に向けた企業の貢献として、生活賃金差額の支払いを選択できる制度を導入しました**。私たち各認証バナナプランテーションの生活賃金差額を算定し、企業が相当する生活賃金差額をフェアトレード原料調達コミットメントに応じて支払います。私たちフェアトレード組織が、適切な取引契約がなされていることを確認し、影響を測定するモニタリングと評価のサービスを提供します。

賃金と透明性に加えて、フェアトレードは労働者の長期的な成長の重要な方法として**団体交渉やアドボカシー**を支援しています。労働組合や労働者人権保護団体と連携して、労働者が自らの権利を知り、労働条件や雇用の安定など、働きがいのある人間らしい仕事について、団体交渉を通じて合意できるよう支援しています。ドミニカ共和国では、フェアトレードは移民労働者の地位と状況の改善を目指す「ロードマップ」の考案において労働組合、バナナ生産者および市民団体と協働しています。

[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

バナナ農園労働者の生活賃金戦略の詳細についてはこちらをお読みください。



Víctor Manuel Pimentel氏はドミニカ共和国のKellisa II S.R.L. バナナプランテーションで梱包作業員として働いています。フェアトレードのおかげでバイクを購入することができ、今では移動時間が減り、家族と過ごす時間が増えています。



インドTamil NaduのUnited Nilgiri茶園
で作業する茶摘み労働者

生活賃金に関するグローバルなコラボレーション

フェアトレードは、Anker Research Instituteによる新しく迅速な生活賃金の評価手法の開発のために、資金提供しました。その手法は、私たちも設立メンバーになっているグローバル生活賃金連合とIDH, the Sustainable Trade Initiativeに承認されています。この革新は、労働者が生活賃金を得るために、そして生産者が生活所得を得るために必要な金額をより早く、より低成本で、より拡張性のある方法で決定できるようになったことを意味します。こうして得られる生活賃金参考値は、広く認知されているAnkerの生活賃金測定方法と一致しています。[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

フェアトレードは、Anker生活賃金額の補足として賃金におけるジェンダー間の差異を測定するフレームワークの策定にも資金提供をしています。これは、雇用主、労働組合、その他の主要な関係者がジェンダー間の賃金格差を理解し、女性労働者の賃金向上を阻む壁への取り組みに役立ちます。



フェアトレード認証茶園における労働者の権利の強化

インドやスリランカの茶園労働者は、極めて限定された権限や女性にとって特に不利な条件等の劣悪な労働・住宅環境に直面しています。茶のフェアトレード基準は今年初めに更新され、フェアトレード茶園労働者の権利と利益の強化につながっています。

- 認証茶園は、**ジェンダーポリシー、強制労働やジェンダーに基づく暴力の禁止**、監視と救済のシステムを有する必要があります。
- 若者の正規雇用**のために、一定の労働形態と条件を確保することが必須です。
- 住宅環境と労働状況の定期的な評価に関する新しい要件が追加され、**住宅基準、トイレ・手洗い等衛生設備**に関する要求事項も含まれています。
- 認証プロセスや経営陣との対話において、労働者にこれまでより大きな発言力を与えることを目的として、茶園に**フェアトレード コンプライアンス委員会**を必ず設置する必要があります。
- 多くの産地、特にアッサムの紅茶労働者の生活賃金との差を縮めるために、さらなる取り組みが必要です。





COVID-19の制限下において、2020年にコートジボワールの女性リーダーシップスクール第2期として卒業を祝う女性
カカオ農家

女性と若者の成長機会

女性にリーダーと農家としての機会が均等にあれば、自分自身の目標を実現し、家計所得を高め、コミュニティの人たちを元気づけることができます。

そして若者が持続可能な生計を立てられることや新技術を取り入れられること等の未来を農業に見出せば、次世代の農家や起業家になってくれます。

私たちのグローバル戦略が、ジェンダー間の平等と若者の包摶に関する活動を促進する理由はそこにあります。
さらに私たちは、引き続き児童労働やその他の人権侵害を排除する努力に深くコミットしています。

リーダーとしての女性

コートジボワールのカカオ農家向け女性リーダーシップスクールは、2021年1月に144名が参加する第三期生を迎えました。これまでに卒業生が実施した研修を通じて、約3,800人のコミュニティメンバーに直接影響が及んでいます。フェアトレード・アフリカは、ガーナにも学校を展開する準備をしています。[女性リーダーシップスクールの2020年の卒業生の一
部がこちらです。](#)

アジア太平洋フェアトレード生産者ネットワーク(NAPP)は7ヶ国にジェンダーリーダーシップスクールを開設しています。キルギス共和国やパキスタンからの留学生を含む約90名の卒業生が、今では習熟した知識を自分たちのコミュニティで伝え、新たなビジネスを始めています。

過去にはラテンアメリカのフェアトレード生産者ネットワークCLACが、女性リーダーシップとエンパワーメントのスクールの一環で、ジェンダー間の平等について45の生産者組織280名の女性を訓練しました。2014年に新設されたこの学校にはエルサルバドル、ホンジュラス、グアテマラやペルーからの参加者も含まれています。

[➡ 参加者の考えを動画でご覧ください。](#)

“私たち村の女性14名で小さいグループを結成しました。酪農製品加工のマイクロプロジェクトの資金提供に応募して承認を得ました。”

2020年にキルギス共和国のフェアトレードジェンダリー・ダーシップスクールを卒業したDilbar Sydykova氏。
[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

フェアトレードによって農家協同組合への女性参加者が増加



国際林業研究センターの調査員がグアテマラ、インドネシアおよびケニアの6つのコーヒー協同組合を調査し、フェアトレードのジェンダー戦略目標をどの程度達成したかを評価しました。

- 評価と包摶：女性メンバーの割合が12パーセントから40パーセントの中、参加した6つの協同組合すべてで女性がガバナンスとリーダーシップに関与しています。
- エンパワーメントと平等：リーダーシップスキルの向上は、女性のための経済的機会拡大と組み合わせるのが最も効果的です。

フェアトレードは、生産者組織へのジェンダーポリシー起草における指導、女性リーダーシップスクール等の成果を挙げているプログラムの拡大、女性中心のプロジェクトへの資金としてフェアトレードプレミアムの利用促進を行っている組織とコミュニティの変革に携わる女性を支援します。

[詳細についてはこちらをお読みください。](#)



若い農家の育成と気候変動レジリエンスの構築を組み合わせたフェアトレードプログラム「Youth Leading Climate Change Adaptation in Fairtrade Coffee Organizations：フェアトレードコーヒー組織における気候変動への適応をリードするユース」に参加したボリビアのANTOFAGASTAメンバーYola Condor氏

若者への投資

農家が存在しなければ持続可能な農業に未来はありません。次世代のための環境を保全しながら、適正な生活費を得て近代的な技術を使うことができれば、稼業の農場を引き継ぐことは多くの若者の夢になるでしょう。

農業における若者の適正な雇用、技能開発と意思決定への参加を含むビジネスの機会すべてが、食料安全保障と経済発展の確保において必要です。

すべてのフェアトレードの生産者ネットワークが、農業や気候への適応、リーダーシップやその他多くのスキルの構築に若者と共に取り組んでいる理由はそこにあります。2021年後半のユースフォーラム開催がほぼ確定しており、新進気鋭のフェアトレード農家がネットワークを構築し、ベストプラクティスを共有する機会が提供されます。

ラテンアメリカでは、フェアトレード生産者ネットワークCLACが、組合による生産品のバリューチェーンに関連した改善や新たなプロジェクトの立ち上げのための資金調達ができる低金利のリボルビング信用基金を特に若いフェアトレード農家を対象に設立しました。100,000米ドルで立ち上げたこのファンドから協同組合は5,000ドルを上限に、ほぼ3年間借り入れをすることができます。



児童労働防止における私たちのアプローチには、私たちの基準における厳格な要求事項や農家とコミュニティが児童と人権に関する理解を深めるためのプログラムが含まれます。生産者ネットワークが、発生している児童労働を検知して子どもを保護するための適切な措置を講じるシステム遂行の支援にあたります。フェアトレードでは、農家の収入を向上させることで児童労働の根本的な原因にも対処し、またフェアトレードプレミアムを通じて教育や保育のための資金を提供しています。

例として、ホンジュラスの3つのフェアトレードコーヒー協同組合とバイヤーによる共同プロジェクトでは、コーヒー生産者の生活と労働条件の改善、さらに子どもの保護と女性の権利に焦点を当てた人権侵害の防止を目指しています。各協同組合に児童保護委員会が設置され、若者やコミュニティに幅広く働きかける計画と革新的なキャンペーンを展開しています。

フェアトレード
生産者ネットワークは
約30の
児童労働関連
プロジェクトを
支援

フェアトレード・アフリカは、保護者やコミュニティが投資したフェアトレードプレミアム資金による支援のおかげで学校を卒業した若者を集めたフェアトレード同窓会をコーディネートしています。これらの若者が農業かその他の分野かにかかわらず、成功した事例をネットワーク化して共有しています。

アジア太平洋地域のフェアトレード生産者ネットワークNAPPは、昨年12月に一連のユースキャンプをタイから開始しました。コーヒー、ライチ、ハーブやスパイスを生産しているフェアトレード農家家族から40名以上の10代から20代前半の若者が参加しました。NAPPは、フィリピンの砂糖農家家族出身のDiana Faith Diamante氏のような若い農家のリーダーの声も重要視しています。Diana氏は、より多くの人たちにメッセージを伝えるためにブログの執筆やソーシャルメディアキャンペーンを実施しています。[Diana氏の話はここからお聴きください。](#)

子どもと脆弱な成人の権利保護

人間らしい生活と平等な待遇を受ける権利から、奴隸労働から解放される権利まで、人権はフェアトレードの中にあります。フェアトレードでは、児童労働、強制労働およびジェンダーベースやその他の形での職場における暴力等の継続的なリスクにも取り組んでいます。

『フェアトレードプレミアムの投資を通じて、私たちのコミュニティで水資源保全プロジェクトが始まった時はうれしかったです。今では、将来のコミュニティニーズにも配慮して、水質汚染を防ぎ、淡水の天然資源を持続的に管理できるようになりました。(…)
私は、世界中の若い人たちに、私たちの天然資源を当たり前にあるものだと捉えないように促し、影響を与えるたいのです。』

Dama農場労働者Agrarian Reform Association：農業改革協会の若手メンバーDiana Faith Diamante氏



CLACは、気候変動リスク評価と適応計画の概念を説明する小規模生産者向けに構成されたラジオシリーズを5部制作しました。 「私たちには、今後数年間の雨量や気温の変化をいち早く把握して養蜂の生産を高める実践的な適応策があります。適応計画があることの利点は最終的に生産性が向上することです。」 グアテマラCOPIASUROはちみつ協会組合メンバーDalila Tema Gomez氏

▶ [CLACの養蜂イニシアチブの詳細についてはここをご覧ください。](#)



フェアトレード気候アカデミーは、ケニアのコーヒー農家に気候変動レジリエンス農法の採用、作物の多様化や代替エネルギー源の導入を指導しました。フェアトレードは今年、他の諸国の農家向けにも無料ガイドを発行しました。
[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

気候変動レジリエンス

農家は気候変動の最前線にいて、最も大きな影響を受けますが、適応して暮らしを守るための資源に乏しいことがほとんどです。

私たちは農家を含むステークホルダーと以下のような今後10年間におけるいくつかの重要な分野の目標について協議をしました。

- ・アグロエコロジー的プラクティス活用の拡大
- ・気候変動リスクへの対応：アセスメントの実施、その後の緩和と適応戦略の遂行
- ・フェアトレードカーボン・クレジットオプションを通じたカーボン・オフセットの推進
- ・あらゆるレベルにおける気候対策を共同で提唱

教育が最初のステップです。フェアトレード生産者ネットワークは気候変動リスクと対応についての研修を実施しています。例として、**6ヶ国のフェアトレード気候アカデミーが農家の指導とシェードツリーの利用、収入の多様化や気候パターン追跡技術の利用を含む徹底した訓練を提供しています。** 2020年には、CLACがEXCHANGEプロジェクトの一環として、若手気候リーダーアカデミーをオンラインで実施し、エクアドル、ボリビア、グアテマラ、ニカラグア全体で気候への意識向上、リーダーシップ、アドボカシーに取り組みました。

このプロジェクトでこれまで112の若手農家が研修を受けました。[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

今年の初めに、フェアトレード・アフリカが、水管理、エネルギー使用、農場林業等のトピックに関する書籍やトレーニングビデオを含む無料の資料「気候アカデミーガイド」を発行しました。[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

知識を行動に変換することが必須です。 **2020年にフェアトレード生産者ネットワークは約130の気候変動プロジェクトの遂行において協同組合を支援しました。** 今年の初めにコーヒーのフェアトレード基準に導入された新たな環境要求事項は、協同組合による環境リスク評価と気候適応計画の策定をさらに奨励します。

2020年に中米で発生したハリケーンイオタとエタの被害を受けて、かつ新たな気候戦略の一環として、**フェアトレード生産者ネットワークCLACは気候災害対策基金を設立しました。** 200,000米ドル以上の資金をもって、大規模な気象災害後の救援支援と予防措置の資金を提供しています。

[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

パートナーシップは、包括的なソリューションの開発と拡大にとって鍵になります。フェアトレード・インターナショナルは、Cool Farm Allianceとパートナーシップを確立していますが、他にも、保全、調査および開発における主要な団体との対話を進めており、私たちの活動への協働と拡大を目指しています。

“私は気候変動に立ち向かうリーダーとしてトレーニングを受けました。私たちにとって気候変動は非常に重要な課題です。さらに私たちのネットワークや組織におけるリーダーシップの重要性を学び、若者として新たな挑戦をすることを誓いました。”

ボリビアの全国キヌ生産者協会(ANAPQUI)メンバーでユース代表者のIrene Huarachi Arcayne氏



Elqui Alfredo Sepúlveda氏はコロンビアコーヒー協同組合ASOBRISのメンバーで、家族と共に5年間有機農業をしています。Elqui氏がフェアトレードプレミアム資金を活用して設立したバイオファクトリーでは、他の農家たちが有機コーヒーパルプから堆肥とバイオ肥料を作る方法を学べます。ASOBRIS加盟農家は、処理しなければエコシステムに有害になる恐れのあるコーヒー豆洗浄の副産物「ハニーオーター」の処理もします。さらに、協同組合はメンバーにシェードツリーを供給して、コーヒーの品質と同時にサステナビリティを高めています。フェアトレードのコロンビアコーヒーの新たな生活所得参考価格によって、農家の持続可能な暮らしの実現への歩みが進められています。

フェアトレード生産者と気候変動： ホットスポットと優先順位の高い行動 の特定



新しい研究では、各国でバナナ、コーヒー、カカオ、コットン、さとうきびと茶の6つのフェアトレード製品の生産者が直面するリスク、さらに最も差し迫った課題についての農家の見解を分析しています。

研究結果の中心となるのは、地域や作物ごとに異なる気温の上昇、乾期の多さ、降水量の増加、異常気象を含めた気候変動の影響です。地域・作物別のアプローチと地元農家からの視点の理解が必要とされます。

本レポートは、生産者、政治的リーダー、政策立案者にとって、どの地域でどのような気候変動イニシアチブが最も緊急に必要とされているかの特定に役立つ貴重な資料です。

[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

2. 成長と革新

パンデミックと気候変動の影響の高まりにより、世界貿易に存在する構造的な不平等が浮き彫りになり、ビジネスのより良い方法への移行が急務になっています。私たちの新たな戦略の中心として、生産者の売上とそれに伴う財務上の利益の拡大に焦点を当てる一方、サプライチェーン全体における私たちの責任を重視し、サステナビリティに対する企業の意欲的なニーズに応える新たなサービスやモデルを促進します。

生産者の売上と市場の実態

2020年の売上数量上位7商品のフェアトレード売上状況は、COVID-19パンデミックが大きく影響しました。生産者の中には、国内市場と輸出の両方で物流や輸送の問題に直面したところもありましたが、影響がすべての製品に同じように及んだわけではありません。家庭内消費の拡大により、スーパーマーケットでのフェアトレード製品購入が増え、売上を押し上げた一方、外食産業での売上は低下しました。

このセクションでは、生産者の売上高と最終消費地における最終パッケージ製品の売上高の間の原動力を概説します。

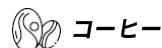


2019年過去最高を記録した後、フェアトレードの非有機バナナの売上高はわずかに減少しましたが、フェアトレード有機バナナの売上高は継続して上昇し、全体の結果としては4パーセントの減少でした。一部の市場における価格競争がフェアトレード調達の減少につながりました。COVID-19に関連したサプライチェーン、流通、消費の混乱も一因となりました。世界のフェアトレードバナナの90%を販売するラテンアメリカの生産者が、2020年に気候を要因とする作物損失に直面し、生産者の適応と回復に向けてCLACが支援しています。2020年におけるフェアトレードバナナの売上トップ市場は英国、ドイツ、フランス、スイス、そしてオランダでした。

COVID-19、気候変動やその他のバナナセクターにもたらされた課題についてのさらなる考察は、今年初めに行われた私たちのwebinarをご覧ください。



フェアトレードカカオの消費国市場は好調な1年でしたが、生産者側の売上は逆に30パーセント減少しました。長年にわたってフェアトレードカカオはサプライチェーンで多く品揃えされていましたが、状況が反転した理由の一つは、パンデミック下の需要の減退と、新たなフェアトレード最低価格の影響と思われます。商業パートナーがフェアトレード条件での購入を中止したケースや、保有在庫を削減したケースもありました。しかし、新たな商業パートナーが次々と現れており、今後数年間は需要の増加が見込まれるため、生産者の売上は上向きに転じる見込みです。イタリア、米国、オーストリアおよびベルギーは、2020年のカカオ最終製品の売上高が26～37%増と大きく伸びた市場のです。



全体として、フェアトレード生産者のコーヒーの売上高はCOVID-19による大混乱にもかかわらず、安定を維持しました。生産地域内の移動制限や輸送用コンテナ不足で輸送の制限がありました。2020年第二四半期においてはコーヒー消費大国で外食産業が90%崩壊し、需要に深刻な影響を及ぼしましたが、家庭内消費向けのスーパーマーケットでの売上で幾分相殺されました。外食産業の売上は穏やかに回復しており、フェアトレード生産者は、フェアトレードコーヒーの品質の高さを競う大会Golden Cupを14ヶ国で開催し、オンラインまたは対面で紹介できるようになりました。2020年におけるフェアトレードコーヒーの売上トップ市場はドイツ、英国、米国、カナダおよびフランスでした。

78%
のコーヒー協同組合
が総生産量の
半分以上を
フェアトレード条件
で販売

“私たちの食料システムをより効率的かつ持続可能に抜本的に改革する必要があります。”

2021年6月のアフリカ・フェアトレードコンベンションでのフェアトレード・アフリカのプログラムディレクターChris Oluoch氏の言葉



インドネシアの協同組合Koptan Gayo Megah Berseriは、パンデミック期間中にフェアトレードプレミアム資金をコーヒーツリー再生プロジェクトの種子の購入に利用しました。フェアトレードコーヒー開発計画に基づき、スイスのMax Havelaarが出資した協同組合のコーヒー苗床で、Raihanのような若者が雇用・訓練されています。

コットン

ファッショングセクターがパンデミックによる大打撃を受けたにもかかわらず、フェアトレード生産者のコットンの売上高は2020年全体で堅調に11パーセント増加しました。パンデミック後は、ブランドへの圧力と農家と労働者への利益還元に向けたイニシアチブの高まりにより、サステナビリティがファッショング・繊維ビジネスにおける重要なトピックになることが見込まれています。2020年における全フェアトレードコットンのうち、4分の3がインド産でした。フェアトレードコットンの最大市場はドイツとフランスでした。ノルウェーやオーストリアなどでも着実な拡大が見られており、フェアトレードコットンへの関心の高まりを示しています。

花

生鮮品であるフェアトレードの花と植物は、迅速に輸出して市場で販売する必要があります。2020年においては、パンデミック規制による大規模な物流上の課題にもかかわらず、生産者の売上高はほぼ横ばいを保ち、2パーセントのみ減少しました。フェアトレードの花の生産者は輸出が途絶えてしまった2020年春の非常に困難な時期にレジリエンスと決意を示しました。2020年におけるフェアトレードの花と植物の売上上位市場はドイツ、英国、スイス、スウェーデン、フィンランドであり、最も顕著な伸びが見られたのはドイツ、オーストリア、スウェーデン、そしてフランスでした。

2020年におけるフェアトレード 生産者による主要 7 產品の推定販売量

產品	量	単位 ¹	非有機	有機	獲得したフェアトレード プレミアム
 バナナ	738,874	MT	37%	63%	€ 35,840,000
 カカオ(カカオ豆)	175,412	MT	78%	22%	€ 37,090,000
 コーヒー(生豆)	226,338	MT	34%	66%	€ 86,310,000
 コットン(コットンlint)	11,759	MT	44%	56%	€ 1,660,000
 花および植物	943,859	1,000 品目	100%		€ 7,250,000
 砂糖(きび砂糖)	120,230	MT	72%	28%	€ 6,810,000
 茶(チャノキ)	8,341	MT	60%	40%	€ 4,400,000

本レポートにおいて引用している売上高成長率は、全7產品の2019年売上高の最新数値に基づいています。売上高の数値が更新されているのは、前回の年次レポート発行後に提出されたフェアトレード取引事業者からの数値報告があったことによるものです。入手可能な最近のデータは以下で確認してください。<https://www.fairtrade.net/impact>

砂糖

2020年における生産者の砂糖の前年比売上実績は減少しましたが、砂糖のサプライチェーンの複雑さ、収穫期の時間枠とCOVID関連の遅延により、一部の売上は2021年に遡及的に報告されます。パンデミック関連の課題に加え、気候関連の天候不順で中央アメリカの砂糖生産者は大打撃を受け、12月に発生した熱帯性サイクロンヤサによりフィジーが受けた被害は壊滅的でした。このような事態にもかかわらず、恐らくロックダウン中の自宅での料理や消費を反映して、2020年のフェアトレードの砂糖の小売売上高は増加しました。売上高リストの上位国は英国、米国とドイツでした。[Eswatiniの農家にとってフェアトレードの砂糖の売上高が意味することについての詳細についてはこちらをお読みください。](#)

茶

2020年の生産者の茶の売上高は、ロックダウン中のフェアトレードの茶の消費と購入が増加を反映して好調に推移し、3パーセント増加しました。多数の生産地域において、ロックダウンと職場での保健衛生の要求事項が収穫期に影響を及ぼしました。2020年においては全ての市場で伸びが見られたわけではありませんが、フェアトレードの茶の最大市場は、英国、ノルウェー、スイス、ドイツとオランダでした。



インドのフェアトレード認証組織
Chetna有機農業生産者会社で、
綿織り作業(種子と異物の除去)用
の綿を運ぶ労働者

¹ MT = トン
「品目」には花茎と植物を含む

注記

この表は全フェアトレード農家と労働者の90パーセント以上が生産した7產品のデータです。報告された量は最終的な販売先を問わずフェアトレード条件に基づき販売した量であり、発行時点で入手可能な最善の情報を反映しています。

すべての人にさらに利益を：高まる需要

フェアトレード生産者の売上を拡大するためには、より多くの企業に持続可能な調達を促し、フェアトレード製品の新たな市場を開拓し、生産者と消費者双方の選択肢を広げることが必要です。

Amazon「気候誓約フレンドリー」にてフェアトレード採択

フェアトレードは、オンラインショップAmazonの気候フレンドリー誓約プログラムに取り上げられた最初のエシカルラベルの1つで、買い物客が、世界の自然保護に役立っている製品を簡単に判別できるようにすることを目的にしています。[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

オーガニックで持続可能な暮らしの促進

いくつかのプロジェクトでは、生産者の機会と市場性も高める包括的なアプローチを進めています。例として、フランス開発庁 (AFD)とスーパー・マーケットチェーンCarrefourからの資金提供を含む100万ユーロ規模のプロジェクトでは、ドミニカ共和国とペルーにおいて、7つのフェアトレードバナナ協同組合による有機農業の拡大と収入の多様化の支援をしています。同時に、このプロジェクトでは、女性のリーダーシップ能力活用と生産者の気候変動レジリエンスへの投資支援により、最終的には10,000名の農家とコミュニティメンバーに利益をもたらします。[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

“このプロジェクトによってバナナの生産性が向上し、持続可能性を促進させます。またドミニカ共和国とペルーの1000名以上の生産者にとって収入の増加につながり、参加している組織の競争力も向上させます。深刻な危機の時期に発足したこのプロジェクトが、家族農業の新たな希望を生み出しています。”

CLACバナナネットワークプレジデントMarike de Peña氏



Javier Ordinala Valledares氏は10年以上、農業協同組合APPBOSAのメンバーです。この協同組合はフェアトレードプレミアム資金を収穫期にバナナをさらに容易に運搬できるワイヤーケーブルに投資しました。



インド最大の茶の連盟INDCOSERVEが2021年にフェアトレードの認証を受けました。30,000以上の小規模茶栽培農家がメンバーで、その多くが何十年も協同してきました。

スイートな機会：フィリピンにおけるフェアトレード砂糖サプライチェーンの展開

フィリピンの砂糖農家はフェアトレード生産者ネットワークNAPPおよび国連国際農業開発基金(IFAD)からの支援により、新たな貿易パートナーシップを開拓しています。南ブキドノンに3つの砂糖協同組合が共同所有するマスコバド砂糖加工工場を建設し、NAPPから研修と市場開発の支援を受けて、約350の農家がバリューチェーンのさらに上流でのフェアトレードの売上を伸ばして所得を向上させることができます。

南アジア市場におけるフェアトレードの需要拡大： *SWITCH-Asia*

欧州連合が資金提供したSWITCH-Asiaプロジェクトは、消費者の持続可能なオプションについての認識を高め、フェアトレード生産者の市場を拡大する継続中の活動を支援しました。

COVID-19の困難にもかかわらず、ファッショントレーディングとフェアトレード週間のオンラインキャンペーンに数千人が参加したことによると、サステナビリティに関する学校での活動には9,000名以上の学生が参加しました。

さらに、インドの3つのブランドが2020年に持続可能なフェアトレード認証製品を立ち上げ、インド初のハイストリートブランドとして持続可能なフェアトレードコレクションを披露しました。インドの消費者が2020年に購入したフェアトレードの食品とファッショントレーディング製品の額は1億1900万ルピー（141万ユーロ）を上回りました。

インパクトのためのパートナー作り：公正でレジリエントなサプライチェーンのためのカスタムメイドのソリューション

フェアトレードは、共通するサステナビリティの目標に見合う状況に応じたソリューションの策定において、企業とその生産者パートナーと協働しています。19のラベル認証機関が、3つの地域フェアトレード生産者ネットワークおよびフェアトレード・インターナショナルと共に、グローバルな貿易における課題への取り組みについての専門知識と30年におよぶ経験を提供しています。

分野横断的な革新： *Sankofa*プロジェクト：*Alliances for Action*による協力

スイスCoopグループのチョコレート会社HALBA、ガーナのフェアトレード認証力カオ組合Kuapa Kokoo、国際貿易センター(ITC)、スイス世界自然保護基金(WWF)などのパートナーシップにより、相互にリンクした複数の目標が推進されています。

- ・気候変動レジリエンス
- ・生物多様性の保護
- ・新規市場へのつながりを目指した収入の多様化



ガーナのKuapa KokooメンバーはSankofaプロジェクト（Empowered by Alliances for Action）の一環として作物を多様化しています。

その他のプロジェクトパートナーには、フェアトレード・アフリカ、Max Havelaarスイス、Ecotopスイス、South Pole、自然と開発財団やYam開発協議会が含まれています。

2020年にCOVID-19がもたらした困難な状況にもかかわらず、2年目を迎えるこのプロジェクトでは、31の小規模農家が収入、食料安全保障と栄養のために、カカオ、木材、バイオマスや果樹、ヤムイモ、その他の関連作物の生産を統合し、約45ヘクタールのダイナミックなアグロフォレストリーを構築しました。この規模は400の農家にまで拡大します。さらに大半が女性で構成される1,016の農家が、別の45ヘクタールのヤムイモ、トウモロコシやその他の作物を気候変動に配慮した作付方法で栽培し、2023年までに2,500の農家に広げることを目指しています。これまでに約7,000の農家世帯メンバーがこのプロジェクトから恩恵を受けています。Kuapa Kokooにおいても、コミュニティメンバーの15名をフルタイム、19名をパートタイムで雇用することでプロジェクトを支援し、他のコミュニティと農家へベストプラクティスを共有しています。

カカオ以外の作物からの農家所得が金額にして168,000米ドルを上回り、生活所得と食料安全保障に貢献しました。この他にCoopグループのHALBAがKuapa Kokooから1,300トン以上のカカオ豆をフェアトレードの条件で調達しています。農家が代替収入源への投資を回収するためには、新たな市場とのつながりを構築することが不可欠なステップです。

人権・環境デューデリジェンス：生産者を交えた説明責任の構築

企業がサプライチェーンを通じて人々と地球の保護を目指すなかで、私たちの新たなグローバル戦略は、人権・環境デューデリジェンス(HREDD)がますます重要な役割を果たすようになることを認識しています。

認証だけでは、人権・環境侵害が起こらないと保証することができないため、人権意識を高め、リスクを評価し、権利保有者が必ずソリューションの一部となるような包括的なアプローチが必要です。企業がリスクの低い地域のみから調達することでリスク回避を果たそうとしていけば、厳しさの増す環境下で違反の防止とは正に懸命に取り組んでいる生産者にますます損害を与えることになり、正義は果たされません。

数年前から、私たちは人権に関するコミットメントとデューデリジェンスの包括的なアプローチを構築し、私たちのシステムを強化するとともに、HREDDに取り組む農家、労働者、企業への支援を提供してきました。私たちは、フェアトレードが国連のビジネスと人権に関する指導原則にどのように合致しているかの分析と具体的な事例をフェアトレードはグローバルサプライチェーンにおける人権侵害をどのように軽減しているのか?というレポートにして発行しました。

現在私たちはHREDDの法案を起草している欧州連合の政策立案者に、農家と労働者の視点を提供し、人権と環境のリスクと影響に関するフェアトレード全体の評価を実施しています。

[フェアトレード人権コミットメントと人権・環境デューデリジェンスにおけるフェアトレードのビジョンについてはここをお読みください。](#)



Leticia Kwaw氏はガーナのパンデミックによる10ヵ月の閉鎖後、1月に再開したAsuadai MAスクールの主任教員です。この中学校ブロックはAsuadai力カオ農家協同組合ソサエティが獲得したフェアトレードプレミアム資金を利用して2016年に設立されました。

3つの分野における私たちのHREDD行動

フェアトレード独自のHREDDプロセスと基準

国際フェアトレード基準と支援の重点項目

- ・生活賃金と生活所得
- ・児童労働、強制労働およびジェンダーによる暴力
- ・ジェンダー、民族その他の立場による差別
- ・結社の自由と労働組合組織化の自由
- ・労働環境
- ・環境権

HREDD法制化におけるアドボカシー

内容例

- ・一次サプライヤーのみならずサプライチェーン全体を対象とする法制化を目指す
- ・企業が特定の調達先を放棄せず、共同投資をして、最も深刻なリスクに取り組むことを目指す
- ・企業が労働者、農家やその他の権利保有者と意見交換することを目指す

企業のHREDD義務への支援サービス

内容例

- ・農家や労働者（権利保有者）との対話
- ・悪影響の防止と軽減についてのガイダンス
- ・実施した行動のフォローアップと測定
- ・救済に向けた支援

3. アドボカシーおよび市民エンゲージメント

フェアトレードは人で成り立っています。私たちは毎年何百万人もの農家、チョコレートやコーヒー好きの人、フェアファーマンションを身に着ける人、学生など、いろいろな人たちが自分たちの声をあげようとフェアトレードに加わっていることに感動しています!

世界中で楽しめている製品を育てたり作ったりしている人々の生活や労働環境に関心を寄せる人が増えるなか、**フェアトレードは最も信頼されているエシカルラベルとして存在しています。** フェアトレードを選択するよう人々に推奨することに加え、わたしたちの目標はグローバルフェアトレードコミュニティの力強いうねりに乗って、すべての農家・労働者、ひいてはわたしたち全員の利益のために法律や制度を変えることです。

人権のためのアドボカシー

主な焦点は、各国政府や欧州連合に対し、生活所得を含めた農家や労働者の権利を貿易政策に組み入れる法律の制定を求めるためのパートナーとの協力です。

- 11月に私たちは、消費国政府、主に欧州連合とその加盟国が、主要なカカオ生産国であるガーナとコートジボワール2ヶ国の生活所得に貢献するために講じることのできる様々な公共政策措置を概説した論文カカオセクターにおける生活所得の向上：消費国のためにの政策オプションを発行しました。
- フェアトレード生産者ネットワークは、いくつかの国際的な人権・環境デューデリジェンス (HREDD) イベントで、農家や労働者の視点を伝えました。
- フェアトレードメンバー機関は、各国の持続可能なカカオイニシアチブ（「ISCOs」）との連携を継続して生活所得目標を推進とともに、HREDDの法制化を求める運動にも参加しています。



フェアトレードはグローバルコミュニティに参加して国連の持続可能な開発目標の多くに貢献しています。

10人中7人近くが、フェアトレード製品を購入することで、公平さと正義のために立ち上がるコミュニティの一員であると感じている

世界中に存在するフェアトレードタウンは
2,075以上

約百万人が
2021年7月の私たちの世界チョコレートデー キャンペーンに参加

120万人を超えるEU市民が
関与するTrade Fair、Live Fairプロジェクト



EUの資金提供によりこの3年間で行われた、国際女性デー、ファッショントレーリューション、世界フェアトレードデー、欧州議会選挙、コーヒーと気候関連の課題を含む16の主要なキャンペーンとプロジェクトは、全体として約5,000人の政策立案者と2,000人の企業代表者を含む5,000万人の人々の間で、持続可能な消費と生産に対する意識を高めました。

このプロジェクトは、あらゆるレベルでの政策アドボカシー、企業の行動に反映させるためのサステナビリティの課題に関する厳密な調査、変化を求めるEU市民の動員を組み合わせたアプローチにより成功を収めました。今年初めに欧州委員会がこのプロジェクトからの学びと提言を共有しました。[プロジェクトの結果についての詳細はここをお読みください。](#)

持続可能な開発目標(SDGs)に貢献する

フェアトレード

国連は、貧困を解消し、地球を守り、すべての人に平和と繁栄を確約するための17のサステナビリティの目標を設定しています。2030年の目標期日まで10年を切ったなか、残された仕事は多数あります。

目標の基礎となるターゲット169のうち、食料や農家・農業労働者に一切関連しないものはほとんど存在しません。

私たちは、私たちの仕事に最も密接に関連する12の優先的な目標を掲げています。

私たちの目標や指標をSDGsと整合させることにより、私たちの行動を不平等や社会的・環境的正義に直接取り組む世界的なムーブメントと一体化させています。

[詳細についてはこちらをお読みください。](#)



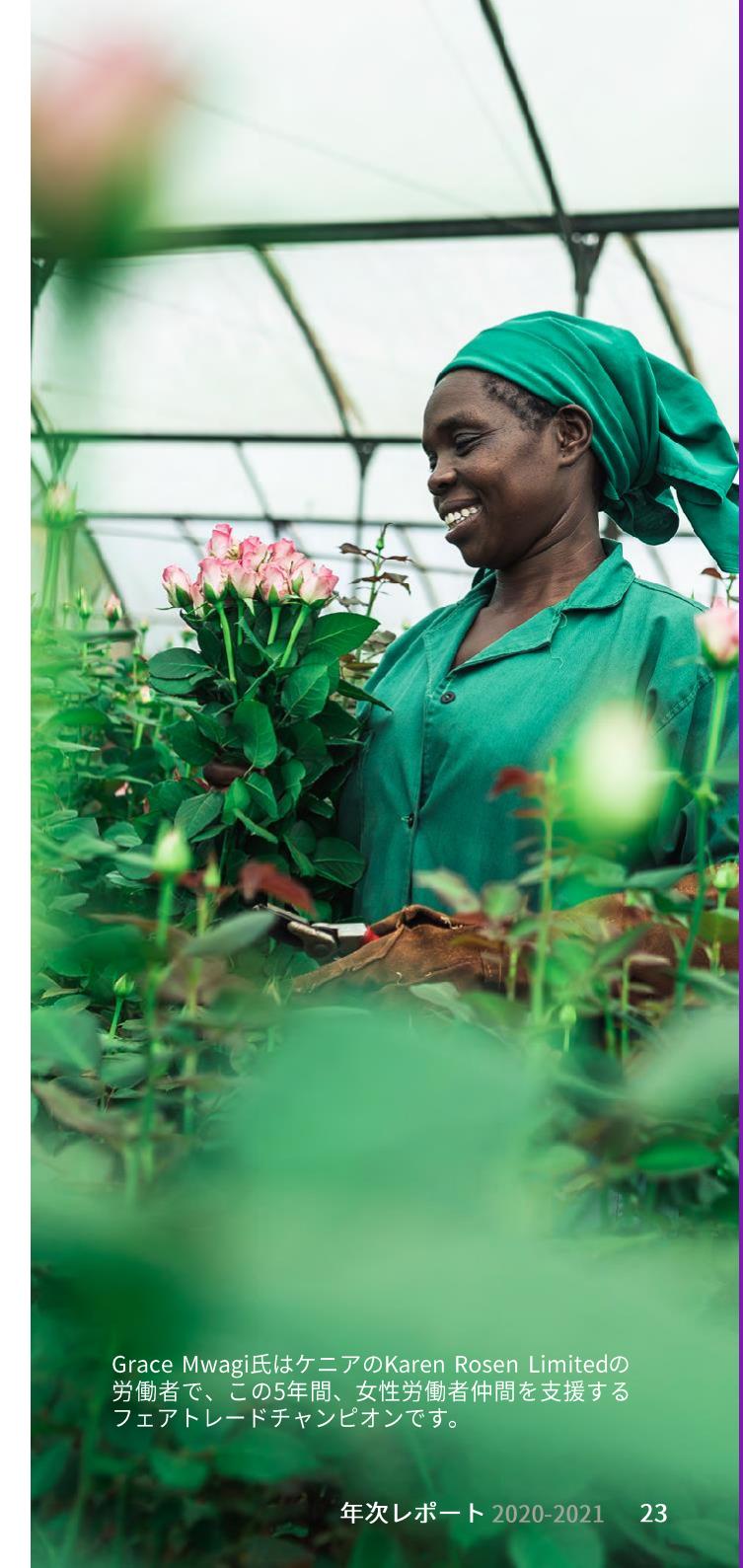
- フェアトレードアドボカシーオフィスと共に、人権・環境デュオデリジェンス(HREDD)に関する種々の立法選択肢の機会とリスクを分析して、人権とサプライチェーンにおける農家および農園労働者の声を広める具体的な提言をまとめました。私たちの分析と提言は、例えば、ビジネスと人権リソースセンター（BHRRC）およびFTAOによる発行物でも公表されています。

- 欧州委員会がデュオデリジェンスの法制化を提案する準備段階に入っています。彼らは協働パートナーと共に、この法制化が、生活所得や生活賃金の欠落、不公正な取引慣習、サプライチェーンにおける力の格差といった課題にどう向き合うべきか提言しています。

生産者の声の拡大

フェアトレードは、農家と労働者が自分たちの経験や政策への要望についての声を届ける支援をしています。これらの活動の一部は、欧州委員会フレームワークパートナーシップ協定助成金の支援を受けています。

- フェアトレード・アフリカは、タンザニアのコーヒー協同組合と協力して、コーヒー生産者に課税される税の撤廃を求める政府へのロビー活動に成功しました。
- CLACがラテンアメリカ5カ国で主導するEXCHANGEプロジェクトでは、気候変動に関連した農家のリーダーシップとアドボカシー能力を強化し、適応・緩和措置を推進する連携のためのアドボカシー活動を目指しています。
- フェアトレード生産者ネットワークは、パンデミックによるフェアトレード生産者や市場への悪影響を軽減するための政策の「要請」の特定に貢献しました。結果として、他のフェアトレードアドボカシーパートナーと、ポストコロナにおける公正で持続可能な復興を求める「Build Back Fairer」の共同声明につながりました。
- 2021年11月、グラスゴーでのCOP26気候会議において、ユースアンバサダーを含むフェアトレード農家が、より迅速なアクションと家族経営農家と労働者を対象とする気候変動への資金提供を求めるアクションを起こします。[各国政府への1,000億ドルの気候変動に関する公約順守の要求についての詳細は\[こちら\]\(#\)です。](#)



Grace Mwagi氏はケニアのKaren Rosen Limitedの労働者で、この5年間、女性労働者仲間を支援するフェアトレードチャンピオンです。



ペルーの農業協同組合AcopagroメンバーのRoberto Gallo氏は、10年以上バナナを栽培しており、フェアトレードのドキュメンタリーシリーズ「世界的危機と戦う農家」に取り上げられています。

4. よりフェアなサプライチェーンに向けたデジタル化

生産者の手中にあるデータと技術はパワーを意味します。技術があれば、農家と協同組合は、経費の全貌を把握し、市場価格のフォロー、天候パターンのグラフ化、迅速な情報共有、その他多くのことができます。これらすべて、農家と協同組合にとって、貿易パートナーとさらに対等な立場に立つことのできるビジネスの貴重な見識を得ることを意味します。

私たちは、プライバシーを保証し、情報への公平なアクセスを提供する包括的なトレーサビリティ戦略を目指しています。FairLensは、売上高やフェアトレードプレミアム、その他多くに関する情報をフェアトレードサプライチェーン全体の関係者に提供するデータウェアハウスです。

2020年、私たちは生産者組織がデータを保存・活用して、貿易交渉における地位向上やデジタルサプライチェーンへの接続を可能にするプラットフォームFairInsightの開発にも着手しました。2021年下旬に、組織がフェアトレードプレミアムの投資に関する情報をアップロードしてメンバー・パートナーと共有する機能が追加されます。

カスタマイズされたデータ所有プロジェクトの一例として、コートジボワールの6つのカカオ協同組合、農業ソフトウェアFarmforceと地元のデータサービス会社のパートナーシップにより、各共同組合内に「内部管理システム」が設置され、カカオの供給に関する重要な情報が保存されています。協同組合は、メンバーの農場をマッピングし、各農場から何を購入したかを追跡することができます。これは「ファーストマイル」トレーサビリティと呼ばれ、銀行融資を引き出すのに役立つデータ入手することができます。各協同組合は、各パートナーのシステムを使用したり、特定の商業パートナーに縛られたりすることなく、複数の商業パートナーとのシステムを使用することができます。[詳細についてはこちらをお読みください。](#)

5. 未来への足掛かり

フェアトレードシステムは、生産者と各国ラベル認証機関とが強力に連携しています。生産者は、私たちのガバナンス上の最高意思決定機能において平等な意思決定権を有しています。各国ラベル認証機関は、消費者意識の啓発と、国際フェアトレード認証ラベルのライセンス事業を行っています。

私たちの新しいグローバル戦略は、システムとしての能力を強化し、私たちの専門知識と資源を活用して農家と労働者のために価値を確実に高められるよう、いくつかの方法を強調しています。

- ・気候変動レジリエンス、女性と若者の機会、人権・環境デューデリジェンス、デジタル化等を含む私たちの戦略上、優先順位の高い分野において、スマートパートナーシップの展開を継続します
- ・システムとしての私たちの介入と影響を拡大することができる資金提供パートナーシップの模索を継続します
- ・革新的なアイデアの探求を加速させ、パイロットプロジェクトを増やし、得た知識や学びをオープンに共有します

欧州委員会フレームワークパートナーシップ協定助成金を通じて、私たちフェアトレードは、主要な重点分野において、私たち自身と生産者組織のシステムを強化し続けています。生産者ネットワークCLACは、ジェンダー平等および若者の関与に係る生産者向けワークショップを開催し、ドミニカ共和国において全国労働者委員会会議を開催することができました。2020年には、フェアトレード・アフリカが8ヶ国においてフェアトレード・アフリアのプログラムおよびサービスの向上と拡大に関連する協議を複数の產品で実施しました。

生産者がオーナーであり決定者であること、地域のフェアトレード生産者ネットワークを通じて生産者が質の高いサポートを受けられること、そして企業には、調達やサプライチェーンのオーダーメイドのソリューションの探求において、協働できる各国メンバーが存在していること、こうした仕組みが私たちの強みの一つです。

詳細については、www.fairtrade.net にアクセスしてください。

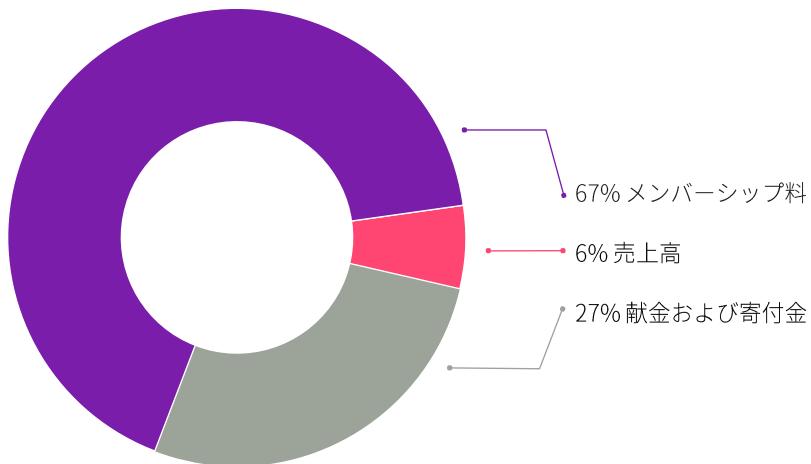


フェアトレード・インターナショナルの財務

2020年決算報告書

以下に概説した主要な財務数値の概要は、内部マネジメントレポートおよび2020年財務諸表からの抜粋です。前年度同様、財務諸表は外部監査の結果、無限定適正意見を受けています(KPMG)。フェアトレード・インターナショナルの会計実務は、一般に公正妥当と認められる会計基準およびドイツの法規(KStGおよびHGB)に準拠しています。

収入

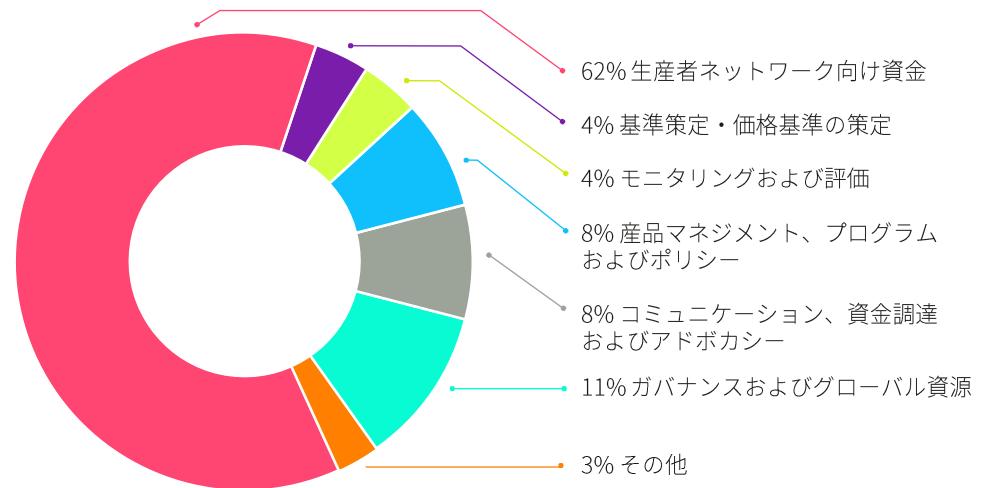


メンバーシップ料: 各国ラベル認証機関（NFO）は、製品への国際フェアトレード認証ラベルの使用を許諾する企業からライセンス料を受領しています。フェアトレード・インターナショナルは、メンバーシップ組織としてNFOからメンバーシップ料を受領しています。メンバーシップ料は使途を限定しない資金であり、各NFOのライセンス料収入に対し一定の割合で計算されます。

売上高: 国境を越えた売上および国際ライセンス供与からの収入を含みます。

献金と寄付金: 助成金を含みます。

支出



生産者ネットワーク向け資金: 3つのフェアトレード生産者ネットワークは、この資金を受領して、地元地域の生産者に支援サービスを提供します。2020年においては、地元地域で生産者ネットワークが分配したフェアトレード COVID-19生産者救援・復興基金が含まれていました。

产品マネジメント、プログラムおよびポリシー: これらの役割に関連する人件費。

コミュニケーション、資金調達およびアドボカシー: これらの役割に関連する人件費に加えて、パートナーへのパススルー助成金の一部を含みます(130万ユーロ)。

ガバナンスおよびグローバル資源: 理事会・総会および財務、IT、人事、法律業務、ブランド、商標および国際ライセンス供与の役割に関連するコストを含みます。

損益計算書

	2020年(€'000)	2019年(€'000)
総収入	34,288	27,700
総支出	33,486	25,026
投資収入	0	0
所得税	77	297
税引後利益	725	2,377
前期繰越利益	173	406
積立金の増減	-1,153	2,609
繰越利益	2,052	174

2020年貸借対照表(€'000)

	2020.12.31	2019.12.31		2020.12.31	2019.12.31
固定資産	1,329	1,373	株主資本	7,315	6,589
無形固定資産	23	32	制限付き指定積立金	620	221
有形固定資産	143	178	別途積立金	4,643	6,195
金融資産	1,163	1,163	当期純利益	2,052	173
流動資産	14,912	12,439	引当金	3,179	2,455
売掛金	4,971	4,366	負債	1,599	1,540
その他資産	613	135	備品およびサービス負債	1,379	1,315
流動資金	9,328	7,938	その他負債および未払金	220	225
前払費用	176	190	前受収益	4,324	3,418
合計	16,417	14,002	合計	16,417	14,002

2020年フェアトレード・インターナショナル 資金提供パートナー

欧州連合 - 開発教育と啓発(DEAR)
欧州連合 - フレームワークパートナーシップ協定
欧州連合 - SWITCH-アジア
ドイツ連邦経済協力開発省(BMZ)
ドイツ国際機構(GIZ)

2020年フェアトレードグローバルシステム 資金提供パートナー

豪州外務貿易省(DFAT)
ベルギー開発協力および人道支援総局
責任ある鉱物に関する欧州パートナーシップ(EPRM)
フランス開発庁(AFD)
Genesis Trust

ドイツ国際協力公社(GIZ)
ドイツ連邦経済協力開発省(BMZ)
ISEAL
イタリア開発協力庁(AICS)
イタリア労働社会政策省
ボードゥアン王財団
フィンランド外務省
ニュージーランド外務貿易省(MFAT)
オープン・ソサエティ財団
スイス持続可能な力カオのためのプラットフォーム
スイス連邦経済省経済管轄局(SECO)
援助と国際開発のための繊維リサイクル(TRAIID)
Trias
英国外務・英連邦・開発省(FCDO)
イタリア・ヴェネト州

フェアトレード・インターナショナル理事会

2021年7月に選出された理事メンバー
Lynette Thorstensen理事長(無所属)
Bill Barrett副理事長(NFO代表)
Miguel Ángel Munguía Gil副理事長(生産者代表)
Frank Harnischfeger会計担当(無所属)
Rhea Beltrami(無所属)
Wambui Chege(無所属)
Andrea Debbané(無所属)
Kouame N'dri Benjamin-Francklin(生産者代表)
Gnanasekaran Rajaratnam(生産者代表)
Merling Preza Ramos(生産者代表)
Laurence Tanty(NFO代表)



このレポートにリンクされている動画や資料は、左のQRコードから年次レポートPDF版を閲覧してご確認下さい。



FAIRTRADE
INTERNATIONAL

フェアトレード・インターナショナル（国際フェアトレードラベル機構）

Bonner Talweg 177 53129 Bonn Germany

電話 +49 (0) 228 94 92 30 ファクシミリ +49 (0) 228 24 21 713 info@fairtrade.net www.fairtrade.net

‘Fairtrade International’を以下でフォローしてください



免責事項

本レポートにおけるデータは、フェアトレード内の各種モニタリングおよびデータ収集システムに基づいており、監査プロセスを通じて生産者組織から報告される場合や他のサプライチェーン関係者から報告される場合があります。フェアトレード・インターナショナルは、データの正確性に責任を負いません。本レポートは知る限りにおいて編集され、情報提供のみを目的としています。フェアトレード・インターナショナルは新情報の入手が可能になった場合、データを更新する権利を留保します。提供されるデータは「現状有姿」で、データの正確性や信頼性についていかなる保証もいたしません。フェアトレード・インターナショナルは、法律の許す範囲において、データの質や完全性に関するいかなる請求や損害に対しても責任を負いません。

クレジット

Photos: Nana Anquah (p. 20); Chamong Tee Exports Pvt. Ltd. (p. 4); CLAC (p. 9, 14, 15); Fairtrade / Funnelweb Media (p. 12); Fairtrade Africa (p. 13); Fairtrade Belgium / Aap Media (p. 19); Fairtrade Germany / Rosa Panggabean (p. 17); José García (p. 11, 12); Verena Gorny (p. 22); Julio Cesar Huber (p. 8); Nyokabi Kahura / Fairtrade / Fairpicture (cover, p. 5); Francis Kokoroko / Fairtrade / Fairpicture (p. 7, 21); Christoph Köstlin (p. 23); Nyimas Laula / Fairtrade / Fairpicture (p. 5); Joséphine Lefebvre (p. 18); NAPP / INDCOSERVE (p. 20); Juan Nicolás Becerra Manrique (p. 16, 25); Dennis Nipah / Fairtrade / Fairpicture (p. 10); Ángela Ponce / Fairtrade / Fairpicture (p. 24); Vivi Pham / Fairtrade Belgium (p. 2); Luca Rinaldini (p. 6); Roger van Zaal (p. 15); Keoma Zec / Oxfam-Wereldwinkels (p. 9). Layout: Dreimalig, Cologne